

タウンニュース

タウンニュース

【神奈川区版】

【2013年2月21日号】



英語と日本語であいさつする児童を見守るロックフェラー夫妻

白幡小

海洋保護団体から認定書

ロックフェラー氏来校

海洋環境問題に取り組む米国のNPO法人「セイラーズフォーザシー」の日本支局Ⅱ西区みなとみらいⅡがこのほど、白幡小学校（永池啓子校長・児童数618人）の4年生が取り組む海の環境保護活動に対し、認定書を贈った。

授与者として、同団体の創始者である大実業家のデービッド・ロックフェラー・ジュニア氏が来校。子どもたちの作品を鑑賞した後、「海を一緒に守ってほしい」とあいさつし、認定書を代表児童に手渡した。評価されたのは、同校の

4年生が取り組んできた「海を知り守る環境学習」だ。これは、昨年6月に同日本支局理事で芸術家の井上文太氏を招き行われた「愛の形」を海の生き物として絵で表現する授業が始まり。その後、鎌倉由比ヶ浜の清掃活動や「愛の形」を

立体で表現する授業などを実施し、12月には学習発表も行った。こうして重ねてきた活動の一つひとつが連なり、深まった結果が認定につながった。

佐藤正淳副校長は「ロックフェラーさんを歓迎するために小学校全体で一生懸命準備しました。認定はうれいですが、学校が開かれ、人が人を呼び、英知を集める。それこそ白幡小の宝です」と話している。



本年度、本校4年生は、白幡の時間の一環として「きらめきオーシャンパラダイス～アート水族館を開き海について考えよう～」と題し、海の生き物や環境に目を向け、考えを深める学習を展開してきました。

子どもたちは海や地球の環境に目を向け、その保全に向けての活動を進めてきました。

この度、その活動が評価され、海洋保護団体 Sailors for the Sea 名誉会長であられるデービッドロックフェラーJr氏が来校し、直接子どもたちに認定書を授与していただきました。